

2017
9/30
土

越前和紙の里

紙の文化博物館

ついにフルオープン!!

〈越前和紙を使用しています〉



特別展

和紙の真髓

越前奉書の世界

(その一・古典編)

平成二十九年九月三十日(土)～十一月五日(日)

毎週火曜日休館

主催 越前市
会場 越前市越前和紙の里 紙の文化博物館 二階展示室

住所 福井県越前市新在家町十一-十二
電話 (0778) 4210026

http://www.echizenwashi.jp

開館時間 午前九時三〇分～午後五時
入館料 大人三〇〇円、団体(十五名以上)二〇〇円

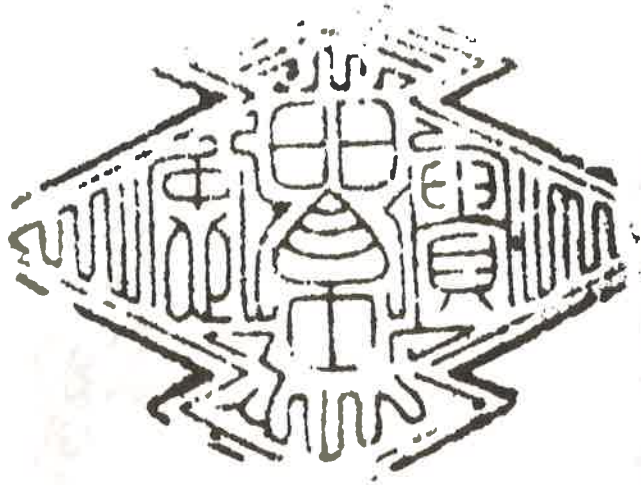
高校生以下無料、障がい者手帳をお持ちの方は割引あり
※卯立の工芸館との共通料金

信長の×××秀吉の○○?!
知られざる
越前の宝物
いつき蔵出し!!

天下

越前和紙の里
紙の文化博物館
Museum of Washi and Culture





ありか

越前の誇り、その所在

日本一の紙漉きの里、越前五箇。今に至るその繁栄を築いたのは、まぎれもなく「越前奉書」である。奉書は楮を主原料とした、白く厚みのある紙。その風格ある肌合いは武家社会で好まれ、公文書用紙としての特別な地位を築いてゆく。羽柴秀吉や佐々成政といった戦国武将が越前奉書を保護し、江戸時代には幕府をはじめ朝廷や大寺社に納められるなど、圧倒的な高

い評価と販路を確立する。その過程は、越前五箇に残る数々の古文書や歴史資料がいきいきと物語っている。

この展覧会では、紙漉きに携わる人々の信仰と生業の支柱であった大瀧神社の伝来品や、重要文化財の和紙製作用具を合せて展示し、越前奉書の成り立ちを紹介する。

なぜ越前奉書が「和紙の中の和紙」たり得たのか。その確たる証拠を、この秋、新しくなった紙の文化博物館で目の当たりにすることができる。

古文書講座

◎10月14日(土)「奉書ってなんだろう」I(中世編)

◎10月28日(土)「奉書ってなんだろう」II(近世編)

時間/午後2時~3時 場所/紙の文化博物館 別館

参加無料(入館料別途)

※事前の予約が必要です。申込先 越前市産業政策課 ☎22-3047 (9月20日(水)より)

ギャラリートーク

◎9月30日(土)・10月14日(土)・11月5日(日)

時間/午前11時~11時半

場所/紙の文化博物館 2階展示室

参加無料(入館料別途) 予約不要



プレミアムな

スタンプコーナー@別館

~和紙に印判を押してみよう!!~

織田信長・豊臣秀吉から越前の奉書屋に下賜されたという印判のレプリカを、別館特設コーナーに設置します。ご自分の御朱印帳やノートに押せば、プレミアム感あふれることうけあい。卯立の工芸館で伝統工芸士が漉いた楮100パーセントの奉書もご用意!

次回予告

2月上旬より、特別展「和紙の真髄—越前奉書の世界—」(その二・近代編)を開催する予定です。越前奉書に摺られた木版画芸術をお楽しみに。

歴史ウォーク

◎10月7日(土) 時間/午前9時半~12時半

(一社)越前市観光協会「手仕事のまち歩き」(企画・実施)

越前和紙のヒット商品!「越前奉書」をめぐる旅

(卯立の工芸館→紙の文化博物館→三田村氏庭園→

紙祖神岡太神社・大瀧神社→人間国宝・岩野市兵衛氏工房)

参加費:1,000円 ※事前の予約が必要です。

お申込みお問合せ くわしくはHP <http://machi-aruki.welcome-eshizenshi.jp>
観光・匠の技案内所(越前市観光協会) ☎0778-24-0655

卯立の工芸館 展示案内

◎平成29年9月9日(土)~10月1日(日)

「伊勢神宮・出雲大社 奇跡の両遷宮作品集 神の宮 増浦行仁写真展」

◎平成29年10月7日(土)~11月5日(日)

「紙の装い—複製本願寺三十六人集にみる料紙の美—」

※入館料は紙の文化博物館と同じで、両館共通料金です。

交通のご案内



北陸自動車道 武生ICより10分
JR武生駅下車後、タクシーで20分
JR武生駅下車後、福鉄バス南越線、和紙の里下車 30分